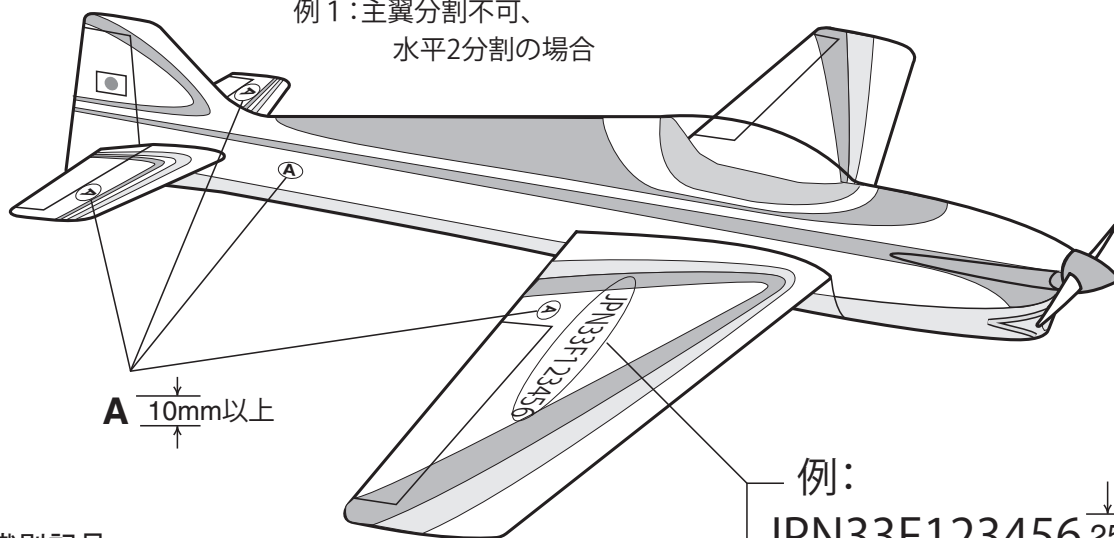


# 模型航空機に表示する

## 模型飛行士登録番号および識別コード表示方法

日本選手権参加機  
公認競技会参加機

例1：主翼分割不可、  
水平2分割の場合



### 機体識別記号：

模型には1機につき1種類の識別記号（文字または数字）をつけないといけない、この記号は機体仕様証明書に記録しておかなければならない。また識別記号は模型の各部分が各々に識別できなければならない。

\* 必ずしもステッカーにより張り付ける必要はない、直接機体の各部分に明瞭にペイントすることを推奨する。

\* 同体、主翼、水平尾翼、ラダー、等すべての分解できる部分には必ず標記すること。

\* 識別記号の文字または数字は原則として下記のように定める。

- 1) 1～9までの算用数字。  
1 2 3 4 5 6 7 8 9
- 2) A～Zまでのローマ字。  
A B C D E F G H J K L M N P Q R S T U V W X Y Z
- 3) 上記 1) 2) のうち原則として1字のみ。
- 4) 文字または数字の高さは10mm以上とする。

例：

JPN33F123456

### 模型飛行士登録番号：

模型飛行士登録番号の機体への表示方法。

\* 機体のどこか一カ所以上に、明瞭に表示する。

\* 文字の高さは 25mm以上とする。

\* サイズに関わらず複数箇所に模型飛行士登録番号が表示されている場合は、全て同一番号のこと。

\* JPN33F000456 の場合は JPN33F456 と表示する。

例2：主翼2分割、水平2分割、  
ラダー脱着可の場合

